

あつま 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- ①図書フェスティバル
- ②厚真町文化祭ウィーク／竹山葵さん大太鼓一本打ちの全国大会で優勝！日本一！
- ③令和7年度教育委員会表彰／平取町二風谷アイヌ文化博物館見学ツアー／令和7年度二十歳のつどい開催について
- ④全国学力・学習状況調査 結果公表／10月定例教育委員会
- ⑤図書室だより
- ⑥放課後子ども教室活動報告

雨にも負けず風にも負けず

図書フェスティバル2025



グラスデコオーナメント作りの様子



プラネタリウムの様子



シュシュ作りの様子

11月1日（土）、厚真町文化祭にあわせ、青少年センターで「図書フェスティバル」を開催しました。通常の本の貸し出しに加え、フェスティバル企画としてリサイクル本の配布、手編みシュシュ作り、グラスデコオーナメント作り、プラネタリウム投影を実施。あいにく、雨や強風が吹く大荒れの天気でしたが、たくさんの方々にご来場いただきました。

リサイクル本の配布は、例年よりもパワーアップしてさまざまなジャンルの本をたくさん用意しました。また、シュシュ作りでは、豊富な種類の毛糸の中から一つを選び、ゴムひもに毛糸を通して手編み。子ども達は慣れない作業に苦戦していましたが、最後まであきらめずに完成させ、腕につけたり髪につけたりしていました。まだまだ早いですが、母の日のプレゼントにも良さそうです。

グラスデコオーナメント作りでは、初めにたくさんの種類のプレートから一つを選ぶのですが、この段階で皆さん大悩み！悩んだ末、厳選したプレートに色を塗り、子どもも大人も夢中になりながら製作していました。オーナメントはストラップにしたりネックレスにしたりと、世界に一つだけのオリジナル作品が完成。また、オーナメントを乾かしている間にプラネタリウムを投影し、秋の星座のお話や厚真町の今日の星空を見ました。今後も、皆さんに楽しんでいただけるイベントを企画していきます。



ここでは書ききれない
『図書フェス』の裏話は
note「あいとまなびと」
に記載しています！
ぜひご覧ください！

厚真町文化祭ウィーク 延べ1,000人以上が来場！

11月1日（土）～10日（月）までの間、総合福祉センター及び厚南会館を会場に、厚真町文化祭ウィークが開催されました。両地区での展示や芸能発表会をはじめ、あつま歌謡ステージ、中高生意見発表会のほか、今年度から新たに取り組んだ各種団体の活動を体験できる「ちょっと体験会」など、多種多様な文化に触れる機会となり、延べ1,000人を越える来場がありました。毎年、たくさんの方々が楽しめるよう形を変えながら取り組んでいる文化祭。来年度もたくさんの笑顔が生まれる場になることを願っています。



華道同好会による生け花体験



厚真町文化祭ウィーク開催式でのテープカット



厚南地区での芸能発表会

厚真中学校3年竹山葵さん 大太鼓一本打ちの全国大会で優勝！日本一！

厚真中学校3年生の竹山葵さんが、室蘭市で開かれた「第16回大太鼓一本打ち大会」中学生の部で最優秀賞を受賞し、10月17日（金）、恩師とともに宮坂町長、遠藤教育長に結果を報告しました。

厚真郷芸保存会の一員として日々練習に励んでいる竹山さんは、町内外問わずたくさんの大会やステージでの経験も豊富です。全身を使ったバチさばきの中にも、ダイナミックさとしなやかさを兼ね備えた奏法が特徴で、演奏時の表情や発声などにも磨きをかけました。

竹山さんは「その日のコンディションで、太鼓の響きは違います。表情が苦手なので、イメージ作りが大変でしたが、結果につながり嬉しく思います」と報告すると、町長・教育長から更なる高みを目指してほしいとエールが送られました。



笑顔で報告をする竹山さん



報告の様子

令和7年度厚真町教育委員会表彰 印牧 悟さん・前田 正行さんを表彰



10月30日（木）に、厚真町総合福祉センターで令和7年度厚真町教育委員会表彰式が行われました。今年度は、印牧悟さん（新町）と前田正行さん（本郷）に、遠藤教育長から感謝の言葉とともに表彰状が授与されました。受賞者の功績は下記のとおりです。

【印牧 悟さん】

平成20年2月から厚真町立学校薬剤師として学校の保健管理と疾病予防に尽力し、本町の児童生徒の保健衛生の向上に貢献

【前田 正行さん】

平成23年4月1日から令和7年3月31日まで厚真町社会教育委員及び副委員長、平成4年5月1日から令和6年4月30日まで厚真町体育協会員及び副会長として、長年にわたり豊富な識見をもって社会教育及び社会体育の振興に寄与



平取町立二風谷アイヌ文化博物館見学ツアーの参加者募集

日程：12月14日（日）

集合場所／出発時間：青少年センター／8時45分 発

集合場所／出発時間：厚南会館／9時00分 発

滞在時間：10時00分～14時10分（予定）

参加費：無料（バス代・入場料）

昼食：各自ご持参ください。昼食会場を用意しています。

定員：40名（小学生以下は保護者同伴）

申込締切：12月5日（金）17時00分

申込先：軽舞遺跡調査整理事務所

☎28-2733

✉shakai@town.atsuma.lg.jp

厚真町が所蔵する
祭具一式

見学施設

- 沙流川歴史館
- アイヌ文化博物館
- 二風谷コタン・工芸館ほか



令和7年度二十歳のつどい開催について

今年度も下記のとおり、二十歳のつどいを開催します。

対象者へは11月中旬に案内状を送付していますので、ご確認をお願いします。

【令和7年度第4回二十歳のつどい】

日時 令和8年1月11日（日）

10時30分～12時00分

場所 厚真町総合福祉センター

対象 平成17年4月2日から平成18年4月1日までに生まれ、本人または保護者が本町に在住している方

※以前厚真町に在住していた方で、参加を希望する場合は、教育委員会へご相談ください。



昨年度の二十歳のつどい

【問合せ】

教育委員会社会教育グループ

☎27-2495

令和7年度 全国学力・学習状況調査 結果公表

「未来を語れる厚真の子」の育成を目指して

厚真町教育委員会では、9月に「令和7年度全国学力・学習状況調査」に関する結果を町ホームページに掲載しました。小学校第6学年は国語・算数・理科、中学校第3学年は国語・数学・理科、児童・生徒質問が実施されました。厚真町の子どもたちの結果は下記のとおりです。

※数値は「平均正答率」で、「%」を表しています。

※中学校理科は、IRTスコア（500を基準とした得点です。）

【小学校第6学年】

	国語	算数	理科
厚真町	73	65	60
北海道（公立）	65	55	56
全国（公立）	66.8	58.0	57.1

【中学校第3学年】

	国語	数学	理科
厚真町	58	46	521
北海道（公立）	54	47	505
全国（公立）	54.3	48.3	503

児童・生徒質問紙「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に、肯定的な回答をした児童・生徒の割合

	小学校第6学年	中学校第3学年
厚真町	97.5	79.2
北海道（公立）	95.8	73.3
全国（公立）	95.5	75.3

「令和7年度全国学力・学習状況調査」の詳細な内容については、右のQRコードからアクセス可能な厚真町のホームページで確認できます。ぜひ、ご覧ください。



厚真町では、平成31年度から小中一貫教育に取り組んでおり、小・中学校が統一した「厚真スタイル」の授業を通して子どもたちの主体性・協調性を育み、「未来を語れる厚真の子」の育成を目指しています。令和3年4月より、厚真町教育研究所を設立し、授業づくりやふるさと学習などを柱に取り組んでおり、今年度は、教育研究所学習部会が各学校とも連携し、「主体的・対話的で深い学びの実現」を目指した授業づくりに力を入れています。今年度の調査の結果では、本町の子どもたちは、すべての教科において全国と比べ「ほとんどの教科で上回っている」というものでした。探究的な学びを推進し、これからの中年に求められる資質・能力の育成を目指してまいります。また、児童・生徒質問紙「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問に、肯定的な回答をした児童・生徒の割合は、全国と比べ「高い」結果となりました。地域の皆さんには、ふるさと教育をはじめ、多大なるご協力をいただきおり、「未来を語れる厚真の子」の育成に向けて成果が表れていることに感謝申し上げます。今後も、本町の子どもたちのためにお力添えをお願いいたします。

10月定例教育委員会

10月30日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

10月定例校長・教頭会議について／学校給食センターへの食材等の寄贈について／イナウ製作体験（町教委共催）／カムイノミ・イチャルパ（町教委共催）／厚真町スポーツ少年団連絡協議会環境美化活動（町教委共催）／第25回健康ふれあいマラソン大会／厚真のアイヌ文化を巡るツアー／第2回ディスカバリーカルチャー「プラネタリウム×南極」／第3回厚真未来カレッジ「好きなことを仕事にする」／日本ホワイトファーム野球教室（HOKKAIDO BASEBALL PROJECT 野球教室 in 厚真町）／他1件

◆議案

厚真町児童生徒学びチャレンジ支援補助金交付要綱の一部改正について／他1件

◆その他

厚真町教育振興推進計画（案）について／他1件

★問合せ

教育委員会学校教育グループ
☎ 27-2494

図書室だより

青少年センター図書室 「道立図書館コーナー」休止のお知らせ



長年親しまれていた、青少年センター図書室の「道立図書館コーナー」が、11月をもって休止することになりました。

北海道立図書館の図書館支援事業の一つとして、大量一括貸出があります。十分な蔵書を確保することができない市町村の図書館・図書室が利用し、厚真町も10年以上利用させていただきました。図書室では新刊コーナーの隣にあり、新刊と道立図書館コーナーの本を借りていかれる方多くいらっしゃいました。新しい本ばかりではなく、今では手に入りにくい2000年代の小説もあり、いろいろな年代の方に親しまれていたコーナーでした。

休止に至った理由は、2026年に予定されている青少年センター図書室仮移転の際に、コーナーの本を紛失破損することを防ぐためです。厚真町だけではなく他の市町村も利用している図書資料ですので、紛失すると迷惑をかけてしまします。

現在、仮移転先のレイアウトを考え、道立図書館コーナーを確保できないか検討中です。決まった際はこちらの図書室だよりでお知らせいたします。

道立図書館コーナーのこれまでのご利用に感謝し、今後も利用者の皆さんへ読書の楽しみをお届けします。

今年も受付！あなたの読書記録帳

2025年1月から12月までの図書室で借りた本（道立図書館コーナー除く）の一覧表を小冊子にしてお渡しします。ご希望の方は青少年センター図書室カウンターまでお申し込みください。



12月の休館日

30日(火)～1月4日(日)

年末年始閉庁日

その本は図書室の本ではありませんか？

- ・厚真町公民館図書室の蔵書印が押してある
- ・背ラベルがついている
- ・バーコードシールが貼ってある

お掃除中に見つけたら、
図書室まで返却をお願いいたします



■青少年センター図書室開館時間

9時00分～17時00分（月・水・金・土・日）

9時00分～19時00分（火・木）

※祝日、年末年始は休館となります。

■厚南会館図書室

9時00分～17時00分（月～日）

※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

クリスマス
特集だよ

12月の「おはなしのびっ子」による絵本の読み聞かせは、

11日(木) 10時00分から10時30分まで

場所：青少年センター絵本コーナーです



☆放課後子ども教室活動報告☆

すっかり日が落ちるのも早くなり、秋も終盤。冬の足音がもうすぐそばまで聞こえています。子どもたちもダウンジャケットやスキーウェアなどの上着に衣替えをし、モコモコと暖かそうな手袋やマフラーを携えてくるようになりました。カゼやインフルエンザなどにならないよう注意をして、元気に子ども教室に参加してほしいものです。

スポーツや読書、美味しい食などそれぞれに楽しみを見つけられる秋のプログラムでは、季節ならではの身近な自然を楽しんだり、町内の農家さんからいただいたカボチャを使ったおやつづくりをしたり、年齢や性別に関係なく、多くの人と楽しめるニュースポーツの『モルック』、ハロウィンにちなんだレクリエーションミニゲームを行いました。今年のカボチャのおやつはドーナツづくりに挑戦。ホットケーキミックスに、加熱してつぶしたカボチャを混ぜて生地をつくり、スプーンで丸く成型して揚げ焼きにていきます。菜箸を扱うのに悪戦苦闘しながら、フライパンの中でクルクルと転がし、キレイなキツネ色に仕上げました。ほんのりとカボチャの甘みが残り、あっという間にお皿は空っぽ。「おかわりしたい！」という声もあり、心もお腹も満足なおやつづくりになりました。

『モルック』はフィンランド発祥の競技で、木の棒（モルック）を、数字が書かれたピン（スキットル）に当てて倒し、ちょうど50点を目指して競い合うゲームです。ちょっときり50点を目指していくゲームですが、場合によっては50点を超えることもあります。その場合は25点に減点され、再び50点を目指して点数を積み上げていくことになるので、子どもたちはメモ用紙とペンを片手に、点数の計算をしながら作戦を立てていきます。剛速球を投げる必要もなく、ときには運も味方につけながらゲームが進んでいくので、学年に関係なくコミュニケーションをとることができます。また、点数の計算をするので算数の良いトレーニングにもなっていました。白熱した試合が多く展開されました。

夏から秋へ季節がめぐると、身近な植物も秋仕様になり、冬に向かって準備をしていくようになります。今年はドングリがとても少なかったですが、昨年に続き、栗は豊作でポケットに大きな栗を詰め込む子どもたちがとても愛らしかったです。カサカサという葉音に、ふと栗の木を見上げると、枝先で栗の実を頬張るエゾリスを発見。小さな手を器用に使って食べ進める様子を、しばし、子どもたちと一緒に観察しました。人にとっても楽しい遊び場が、生き物にとっても良きえさ場となっていることを、体験を通して実感する貴重な機会になりました。

